

専務理事方針

岡山 拓矢

中津川青年会議所は、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、メンバー一人ひとりが創始の志を受け継ぎ、時代背景に惑わされることなく地域の発展を願い、様々な運動を展開してまいりました。だからこそ、今を生きる私たちが、まちを取り巻く環境から目を背けることなく、団体としてのさらなる組織力の強化に努め、大きな運動を展開し続けることで、「明るい豊かな社会」の実現に繋がると考えます。

組織とは、「個」の結集であり、組織力を高めていくためには、メンバー同士の信頼関係が必要不可欠であると考えます。自らのためだけに活動するのではなく、多様な価値観を時にはぶつけ合い、互いに支え合うことにより、強固な信頼関係を構築できるのではないのでしょうか。どんなに時代が進化しても、人が人によって磨かれ成長していくことは、これから先も変わることはありません。人と人が、真っ向から向き合える環境を作ることで、メンバー同士の信頼関係を築き上げると共に各々が自分を磨くことができ、互いに切磋琢磨し「個」を成長させていくと考えます。

一方で、「明るい豊かな社会」の実現のためには、私たちの運動が地域の方々に広く理解され、団体として頼られる存在になることが不可欠です。そのためには、多くの市民を巻き込み、意識の変革に努める運動を通して、理解者を増やし効果的な情報発信をもって広く浸透させることが必要ではないでしょうか。どんなに素晴らしい運動を行っても市民に認知されなければ、理想が空想となってしまいます。だからこそ、地域を発展させるべく運動の展開と共に、効果的な情報発信を行うことが、この地域に必要とされる存在となり、輝かしき未来へと繋がると考えます。

専務理事として、2018年度の運動を通じ、青年会議所の存在価値が高められるよう、対内外に発信してまいります。また、メンバーが参加しやすく、気持ちよく活動していただけるよう、厳しくも温かみのある組織運営・設営に心がけてまいります。

<事務局>

会務業務として、効率のかつ円滑な組織運営とともに、本質的な部分を熟考できる環境を整えていただきたい。また、青年会議所の運動発信が効率的に展開できるよう支援していただきたい。

渉外業務として、スピード感をもって対内外への効果的な情報発信を行うとともに、メンバーへの配慮や心のこもった設営に努め、メンバーから信頼される存在になっていただきたい。

<JCスクール（特別委員会）>

青年会議所活動に送り出してくれる多くの方への感謝の気持ちを忘れることなく、このまちに貢献するといった気概を持って活動していただきたい。また、活動を通じて新たな気づきを得ていただきたい。